

ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ
グローバル・アロケーション・ポートフォリオ

ルクセンブルグ籍オープンエンド契約型外国株式投資信託
「クラスA受益証券(米ドル建て)」 「クラスA受益証券(豪ドル建て)」
「クラスA受益証券(円建て)」

交付運用報告書

作成対象期間
第16期(2025年2月1日～2026年1月31日)

受益者の皆様へ
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ(以下「ファンド」といいます。)のサブ・ファンドであるグローバル・アロケーション・ポートフォリオ(以下「ポートフォリオ」といいます。)は、このたび、第16期(以下「当期」といいます。)の決算を行いました。
ポートフォリオは、トータル・リターンの最大化を追求します。ポートフォリオは、投資目的を追求する上で、ブラックロック・グローバル・ファンドのサブ・ファンドであるグローバル・アロケーション・ファンド(以下「投資対象ファンド」といいます。)のクラスX投資証券に、「フィードー・ファンド」として投資します。当期につきましても、上記に沿った運用を行いました。
ここに、運用状況をご報告いたします。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

管理会社 ブラックロック・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エー

代行協会員 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

第16期末		
1口当たり 純資産価格	クラスA(米ドル建て)	25.60米ドル
	クラスA(豪ドル建て)	26.22豪ドル
	クラスA(円建て)	143.39円
純資産総額	クラスA(米ドル建て)	408,849,580.93米ドル
	クラスA(豪ドル建て)	93,485,794.29豪ドル
	クラスA(円建て)	2,048,604,403.32円
第16期		
騰落率	クラスA(米ドル建て)	17.43%
	クラスA(豪ドル建て)	16.12%
	クラスA(円建て)	12.66%
1口当たり 分配金額	該当事項はありません。	

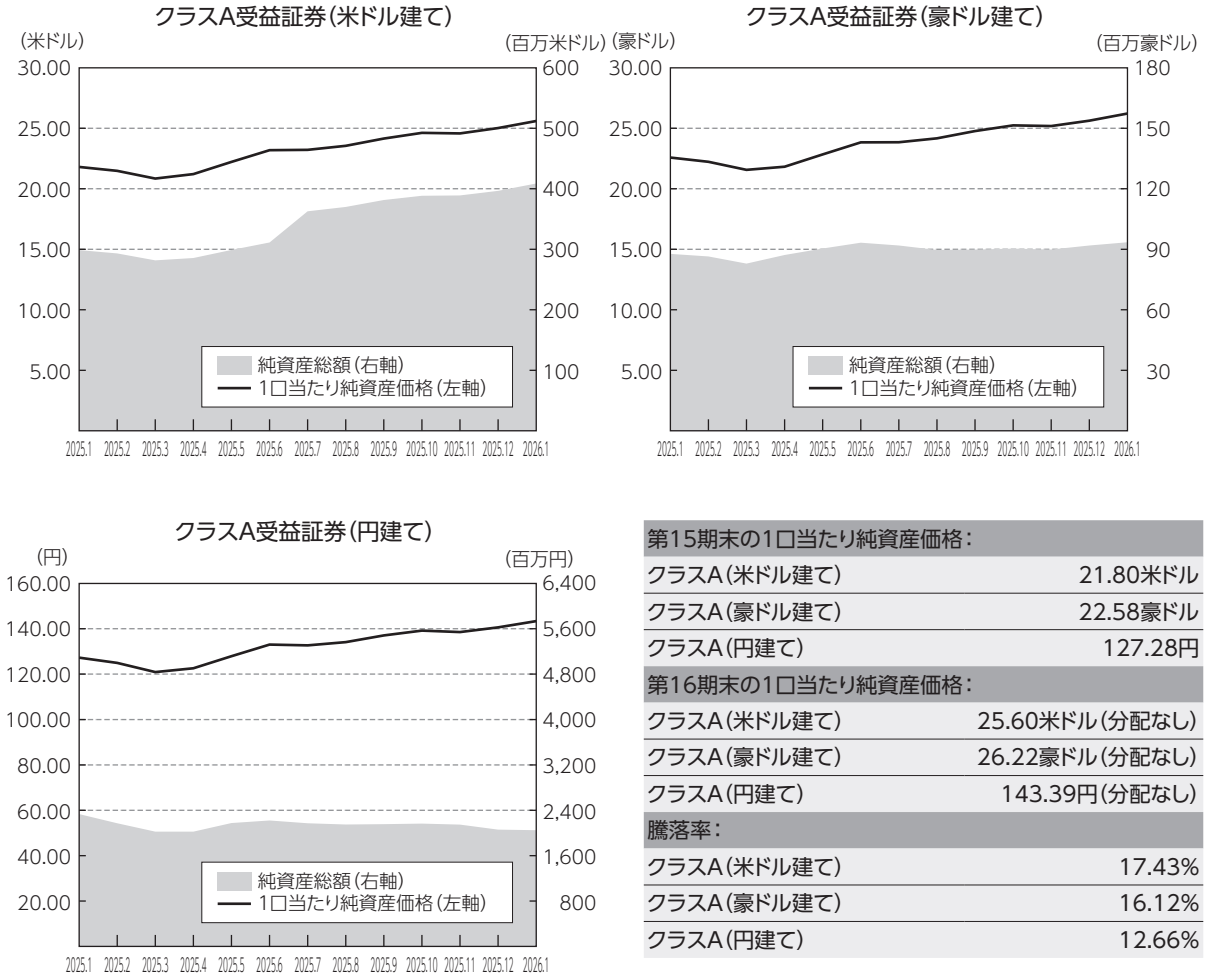
(注1)騰落率は、受益証券1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。
(注2)「クラスA(米ドル建て)」とは、クラスA受益証券(米ドル建て)をいい、「クラスA(豪ドル建て)」とは、クラスA受益証券(豪ドル建て)をいい、「クラスA(円建て)」とは、クラスA受益証券(円建て)をいいます。以下同じです。

ポートフォリオの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、日本における販売会社までお問い合わせください。

その他記載事項
運用報告書(全体版)は代行協会員のウェブサイト(<https://www.sc.mufig.jp/products/trust/index.html> 「外国投資信託運用報告書」)にて電磁的方法により提供しています。

◀ 運用経過 ▶

【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】



(注1) ポートフォリオは分配を行わない方針であるため、分配金再投資1口当たり純資産価格は記載していません。以下同じです。

(注2) ポートフォリオの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ポートフォリオにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

ポートフォリオは、当期を通じて17.43%の上昇となり、17.85%上昇した参照指数を下回りました。ポートフォリオは、ブラックロック・グローバル・ファンズのサブ・ファンドであるグローバル・アロケーション・ファンドのクラスX投資証券に、「フィーダー・ファンド」として投資しています。グローバル・アロケーション・ファンド内では、株式に関しては引き続き、大型でキャッシュ創出力のある成長企業、特にテクノロジーおよびAI分野を牽引し、堅調な利益成長率、高い自己資本利益率と高い収益性を持つ企業を重視しました。債券については、分散方針を維持し、高品質のエクスポージャーを選好しました。今後の見通しとしては、株式市場の上昇が続いたとしても、バリュエーションの高まり、取引の集中およびAIに関する懸念の継続により、2026年はより変動性が高まる可能性があります。マルチアセット・ポートフォリオを効果的に分散する方法を見出すことで、投資家はリスクを管理しつつ、戦略的な株式配分を維持することが可能となります。債券の少なくとも一部は、かかる機能を担い始める可能性があります。

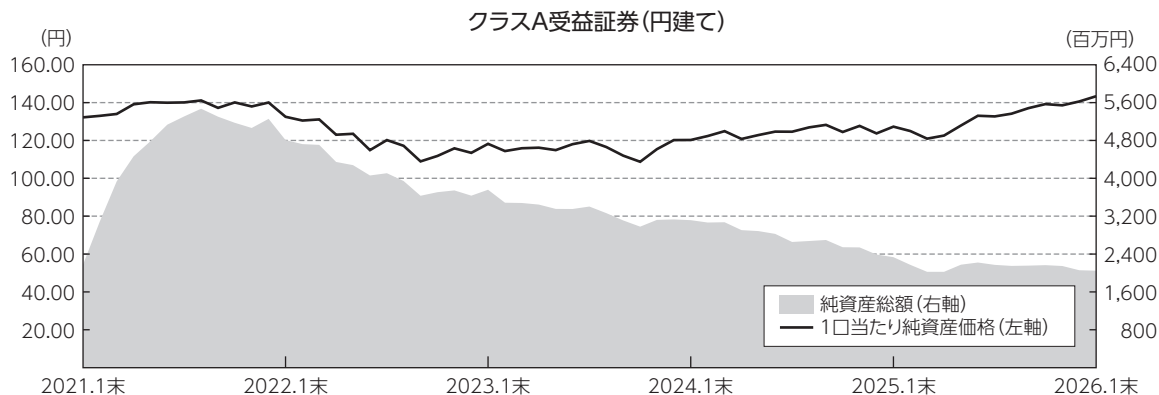
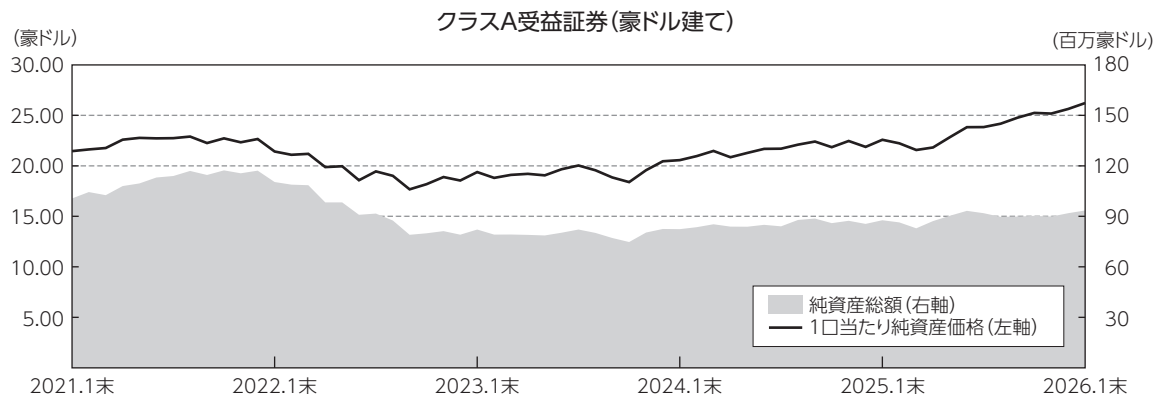
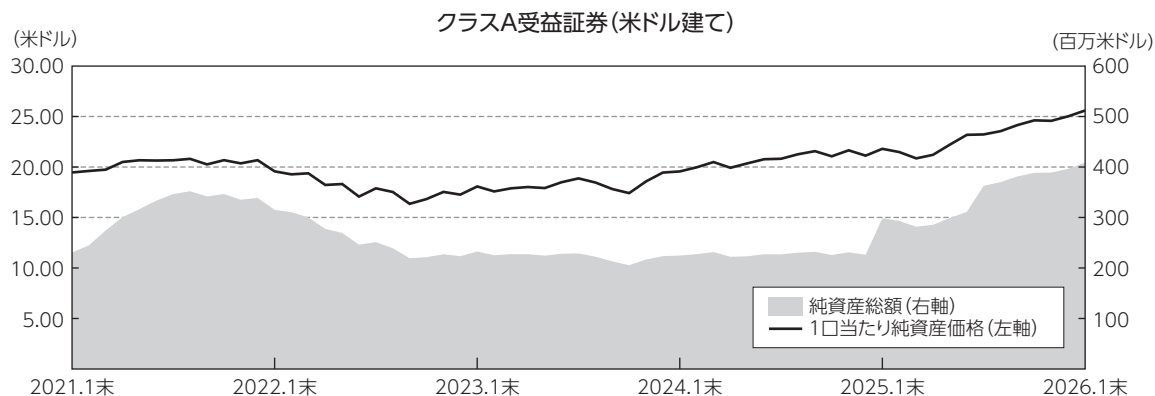
【費用の明細】

項 目		項目の概要
年間管理報酬	0.75%	約款に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
年間販売報酬	0.70%	投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、販売会社に支払われます。
年間代行協会員報酬	0.05%	受益証券1口当たり純資産価格の公表および受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類の日本における販売会社に対する送付等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
その他の費用(当期)	0.12%	保管報酬、管理事務代行会社報酬、名義書換事務代行会社報酬、管理業務会社手数料、運営に関するすべての費用(税金、法務および監査費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等)を含みます。)、ルクセンブルグの年次税および所有する有価証券等の取引関連手数料等として支払われました。

(注1)各報酬については、目論見書に定められている純資産総額に対する料率を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をポートフォリオの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、ポートフォリオが組み入れている投資対象ファンドの費用を含みません。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】



			第11期末 2021年 1月末日	第12期末 2022年 1月末日	第13期末 2023年 1月末日	第14期末 2024年 1月末日	第15期末 2025年 1月末日	第16期末 2026年 1月末日
1口当たり 純資産価格	クラスA(米ドル建て)	(米ドル)	19.46	19.57	18.07	19.56	21.80	25.60
	クラスA(豪ドル建て)	(豪ドル)	21.46	21.42	19.38	20.56	22.58	26.22
	クラスA(円建て)	(円)	132.21	132.49	118.23	120.26	127.28	143.39
1口当たり 分配金額	クラスA(米ドル建て)	(米ドル)	0	0	0	0	0	0
	クラスA(豪ドル建て)	(豪ドル)	0	0	0	0	0	0
	クラスA(円建て)	(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率	クラスA(米ドル建て)	(%)	19.46	0.57	-7.66	8.25	11.45	17.43
	クラスA(豪ドル建て)	(%)	16.82	-0.19	-9.52	6.09	9.82	16.12
	クラスA(円建て)	(%)	18.46	0.21	-10.76	1.72	5.84	12.66
純資産総額	クラスA(米ドル建て)	(米ドル)	230,686,748.08	315,101,134.19	232,545,854.51	224,574,787.80	298,618,733.98	408,849,580.93
	クラスA(豪ドル建て)	(豪ドル)	100,599,384.67	110,389,573.88	82,169,918.26	82,395,961.53	87,686,427.51	93,485,794.29
	クラスA(円建て)	(円)	2,177,118,682.41	4,808,224,321.00	3,758,712,296.65	3,115,728,701.19	2,333,081,578.78	2,048,604,403.32

(注) ポートフォリオにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

【投資環境について】

世界の株式市場は、2026年1月末までの12か月間で概ね好調でしたが、当期中のボラティリティは非常に高い水準となりました。これは、米国政府の関税および国際貿易に関する政策の不確実性を主な要因とするものでしたが、地政学的緊張も一因となりました。

当期の開始直後、トランプ政権が米国の複数の主要貿易相手国に関税を課す計画を発表したことに投資家が反応し、米国株からのローテーションが見られました。これにより、2025年の初めの数か月間において、米国株式市場が下落し、欧州株へのローテーションにつながりました。4月上旬には、多くのアナリストの予想よりもかなり広範な関税を課すことをトランプ大統領が発表したことに伴い、世界の株式市場の大半が大幅に下落しました。しかし、米当局者が、貿易交渉が行われている間は複数国への関税が延期されると述べた後、数週間かけて全体的に株価は回復しました。

欧州の株価は、複数の政府(特にドイツおよび英国)が中期的に防衛およびインフラ支出を拡大させるとのニュースにより、更なる下支えを受けました。一方で、ユーロ圏のインフレが欧州中央銀行の正式な目標である2%に向けて低下したことから、欧州中央銀行は、2025年上半年期において金利引下げプログラムを継続しました。英国では、国内のエネルギーコストの上昇を主因として英国のインフレが3%を徐々に上回っていったものの、イングランド銀行は過去12か月間における政策金利を更に複数回下げました。欧州市場および英国市場は、米国政府が欧州連合および英国政府と関税の影響を制限する貿易協定に合意したことにより、更なる下支えを受けました。

イスラエル軍および米国軍が2025年6月にイランの核施設を攻撃したというニュースを受けて、世界の市場においてボラティリティが高まり、原油価格の急騰を招きましたが、イランから持続的な反撃がなかったことから、投資家心理は和らぎました。しかし、2026年初頭には、イラン当局による全国規模の抗議デモに対する弾圧により、米国の新たな介入があるのではという見方が浮上しました。一方で、ロシアとウクライナの紛争に終結の可能性の兆しがあったことで、2025年末にかけて市場のセンチメントが回復しましたが、両国間における交渉は行き詰まったままでした。

2025年の初めには、中国のAI企業が、米国の大手企業が開発した類似のソフトウェアに比べて、数分の一のコストと計算能力で大規模言語モデルを開発することに成功したという報道を受け、世界の最大手テクノロジー企業の株式が下落しました。投資家は、新たなAIシステムの開発に必要な資本投下のレベルにつき既に疑問視し始めており、AI技術の推進派が約束した、同技術による大規模な生産性の向上が本当に実現するかについても懐疑的でした。2025年秋には、テクノロジー銘柄において、企業価値評価の割高感が強まったことから、ボラティリティが更に高まりました。しかし、大手のソフトウェア企業および半導体企業は、引き続き堅調な企業実績を示しました。

中国における経済見通しは、パンデミック後の困難な時期の後、持続的な回復の兆しを見せました。2025年には、経済指標の改善と中国の技術力への楽観的な見通しが組み合わさり、中国の株式市場の大幅な上昇につながりました。日本の株式市場は当初、関税の影響への懸念と日本銀行による更なる利上げ予想により軟調でした。しかし、日本政府が米国との貿易交渉を発表したことや、日本の新首相が日本経済に対して更なる財政対策を提供することを誓ったことから、日本株は期末にかけて力強く上昇しました。

米国、欧州および英国では、国債利回りが当期の初めの数か月間は上昇しましたが、2025年末にかけて、米国連邦準備制度理事会の利下げに反応して下落しました(債券利回りは価格とは逆向きに動きます。)。特に米国および英国の利回りは、両国の経済政策により2025年以降のインフレ圧力が強まるとの予測から、2025年初頭に上昇しました。しかし、10年物米国債の利回りは、2025年5月に4.5%を上回る水準まで上昇した後、2026年年初には4.2%を下回りました。

【ポートフォリオについて】

以下は、投資対象ファンドに関する報告です。

当期、引き続き地域、銘柄、資産配分等に運用制限を設けず、世界各国の魅力的と判断される銘柄に分散投資を行いました。

【分配金について】

該当事項はありません。

《今後の運用方針》

今後も引き続き、投資方針に従って、ポートフォリオの運用を行う方針です。

《お知らせ》

●買戻し手続等に関する変更について

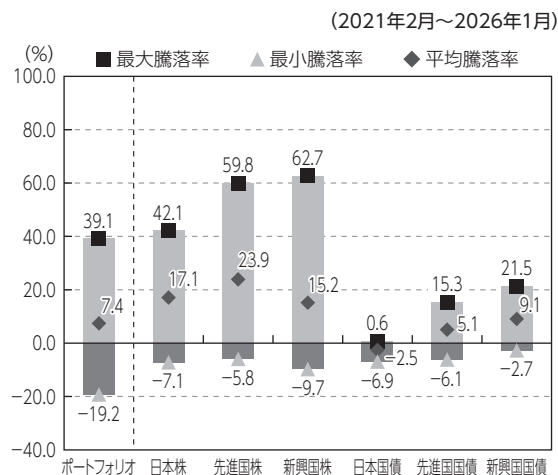
ポートフォリオの買戻し手続等が変更されました。変更後の買戻し手続等の詳細については、2026年7月31日付有価証券報告書をご参照ください。

《ポートフォリオの概要》

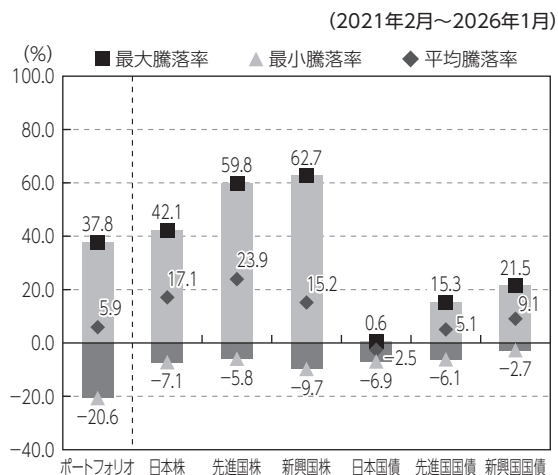
ファンド形態	ルクセンブルグ籍オープンエンド契約型外国株式投資信託(米ドル建て／豪ドル建て／円建て)
信託期間	ファンドおよびポートフォリオは、存続期間を無期限として設定されています。なお、ポートフォリオは、2010年8月20日に運用が開始されました。
運用方針	ポートフォリオは、トータル・リターンを最大化を追求します。
主要投資対象	(ポートフォリオ) 投資対象ファンドのクラスX投資証券 (投資対象ファンド) 全世界の民間企業および政府系発行体の両方の株式、債務証券および短期証券
ポートフォリオの運用方法	(ポートフォリオ) ポートフォリオは、投資目的を追求する上で、投資対象ファンドのクラスX投資証券に、「フィードー・ファンド」として投資します。 ポートフォリオは、ファンド・オブ・ファンズの形態で運用されます。 (投資対象ファンド) 投資対象ファンドは、トータル・リターンを最大化を追求します。投資対象ファンドは、全世界的に、民間企業および政府系発行体の両方の株式、債務証券および短期証券に、規定された制限なく投資します。通常の市況において、投資対象ファンドは、総資産の少なくとも70%を民間企業および政府系発行体の証券に投資します。投資対象ファンドは、通常、投資顧問会社により、週小評価されていると判断される証券へ投資することを目指します。また、投資対象ファンドは、小規模会社および新興成長企業の株式に投資することができます。投資対象ファンドは、債務証券への投資部分の一部をハイ・イールド固定利付の譲渡性のある証券に投資することもできます。通貨エクスポージャーは柔軟に管理されます。 投資対象ファンドは、ストック・コネクトを通じて投資することにより中国に直接投資することができるストック・コネクト・ファンドです。また、投資対象ファンドは、国外投資者アクセス制度、ボンド・コネクトおよび／またはその時点で関連規則により許容されるその他の方法により、中国インターバンク債券市場において中国本土に流通する中国オンショア債券に直接投資することができるCIBMファンドです。投資対象ファンドは、合計でその総資産の20%を上限として、ストック・コネクト、国外投資者アクセス制度および／またはボンド・コネクトを通じて中国に投資することができます。 投資目的の一環として、投資対象ファンドは、総資産の20%を上限として、投資適格格付か否かに関わらず、資産担保証券(以下「ABS」といいます。)および不動産担保証券(以下「MBS」といいます。)に投資することができます。これらには、資産担保コマーシャル・ペーパー、債務担保証券、モーゲージ担保証券、商業用不動産ローン担保証券、クレジットリンク債、不動産ローン投資コンデュイット、住宅ローン担保証券およびシンセティック債務担保証券を含むことがあります。ABSおよびMBSの原資産は、ローン、リースまたは債権(ABSの場合にはクレジットカードの負債、自動車ローンおよび学生ローン、MBSの場合には規制および認可された金融機関に帰属する商業ローンおよび住宅ローン等)を含むことがあります。投資対象ファンドが投資するABSおよびMBSは、投資者へのリターンを高めるためにレバレッジを利用することができます。特定のABSは、直接証券に投資することなく様々な発行体の証券のパフォーマンスへのエクスポージャーを得るために、クレジット・デフォルト・スワップまたはデリバティブのバスケットといったデリバティブを利用して構築されることがあります。 投資対象ファンドの偶発転換社債へのエクスポージャーは、総資産の20%を上限とします。投資対象ファンドのディストレスト証券へのエクスポージャーは、総資産の10%を上限とします。 投資対象ファンドは、投資目的および効率的なポートフォリオ運用の目的のためにデリバティブを活用することがあります。
分配方針	ポートフォリオについては、分配金の支払は予定されていません。

(参考情報)

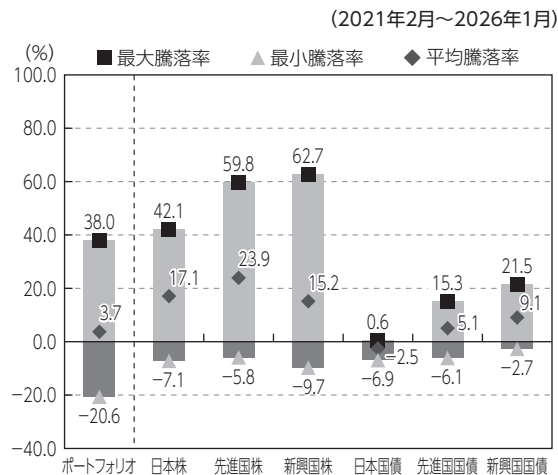
● ポートフォリオと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較
クラスA受益証券(米ドル建て)



クラスA受益証券(豪ドル建て)



クラスA受益証券(円建て)



※前記のグラフは、2021年2月から2026年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均値、最大値および最小値を、ポートフォリオの各受益証券(表示通貨ベース)および他の代表的な資産クラス(円ベース)について表示したものです。

※すべての資産クラスがポートフォリオの投資対象とは限りません。

※各資産クラスの指数

日本株…………… 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株……… MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)

新興国株……… MSCIエマージング・マーケットズ指数(配当込み、円ベース)

日本国債……… NOMURA-BPI国債

先進国国債… FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国国債… J.P. モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス

エマージング・マーケットズ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

(注)日本株および日本国債以外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

<各指数について>

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値および東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケットズ指数(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケットズ指数(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P. モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

《ポートフォリオデータ》

【ポートフォリオの組入資産の内容】(第16期末現在)

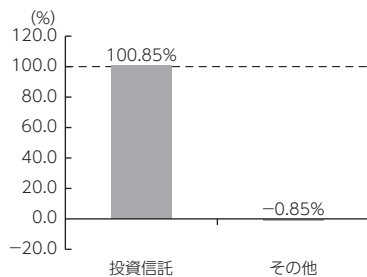
●組入上位資産

(組入銘柄数: 3銘柄)

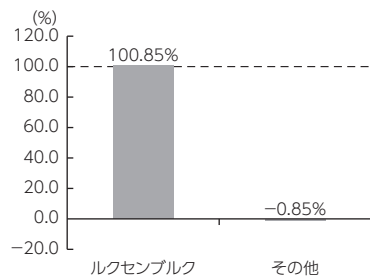
	組入比率
BlackRock Global Funds - Global Allocation Fund X Class non-distributing share	84.57%
BlackRock Global Funds - Global Allocation Fund X Class non-distributing share AUD hedged	13.55%
BlackRock Global Funds - Global Allocation Fund X Class non-distributing share JPY hedged	2.73%

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下の棒グラフも同様です。

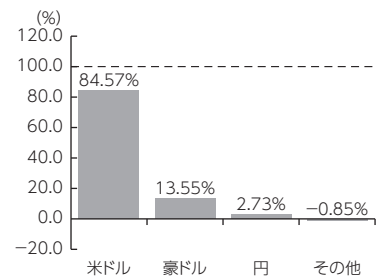
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注2) 上記の各比率は端数を四捨五入して記載しているため、合計が100%とならない場合があります。

【純資産等】

項 目	第16期末
純 資 産 総 額	クラスA(米ドル建て) 408,849,580.93米ドル
	クラスA(豪ドル建て) 93,485,794.29豪ドル
	クラスA(円建て) 2,048,604,403.32円
発 行 済 口 数	クラスA(米ドル建て) 15,930,716口
	クラスA(豪ドル建て) 3,568,634口
	クラスA(円建て) 14,286,782口
1口当たり純資産価格	クラスA(米ドル建て) 25.60米ドル
	クラスA(豪ドル建て) 26.22豪ドル
	クラスA(円建て) 143.39円

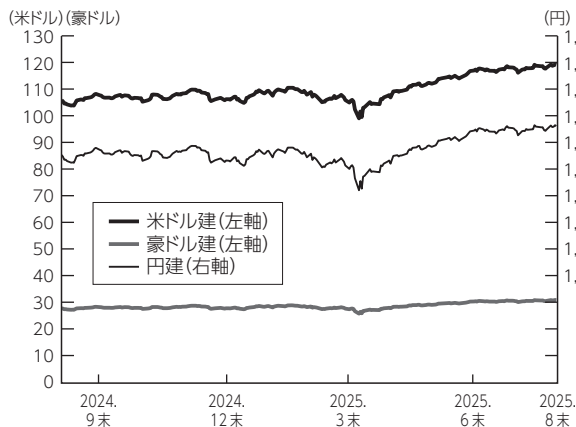
(注) 期末発行済口数は、決済日を基準として算出された数値であり、期末時点において未決済の取引に関する受益証券の口数が算入されていません。そのため、取引日を基準として算出された、ファンドの財務書類に記載された数値とは異なっています。以下の期中販売口数および買戻口数ならびに期末発行済口数についても同様です。

	第16期中				第16期末	
	販売口数	本邦内における販売口数	買戻口数	本邦内における買戻口数	発行済口数	本邦内における発行済口数
クラスA受益証券 (米ドル建て)	3,412,398	804,941	1,137,108	628,119	15,930,716	11,186,800
クラスA受益証券 (豪ドル建て)	540,868	401,583	854,019	634,234	3,568,634	3,500,700
クラスA受益証券 (円建て)	1,500,505	1,500,505	5,543,338	5,543,338	14,286,782	14,286,782

【投資対象ファンドの概要】(2024年9月1日～2025年8月31日)

ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド

●クラスX投資証券1口当たり純資産価格の推移



●保有銘柄情報

(組入銘柄数: 2,141銘柄)

上位保有10銘柄	対投資対象ファンド 純資産総額比率
NVIDIA CORP	2.9%
MICROSOFT CORP	2.8%
AMAZON COM INC	2.2%
APPLE INC	2.0%
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 2.3 02/15/2033	1.9%
ALPHABET INC CLASS C	1.8%
META PLATFORMS INC CLASS A	1.7%
UK CONV GILT 1.25 07/22/2027	1.3%
BROADCOM INC	1.2%
TREASURY NOTE 4.125 07/31/2028	1.2%

(2025年8月31日現在)

(注) 対投資対象ファンド純資産総額比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。後記の円グラフも同様です。

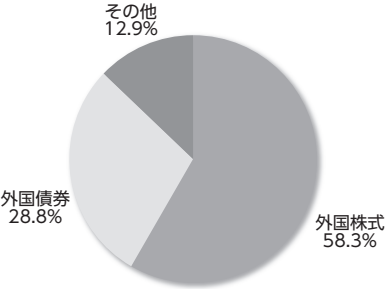
●費用の明細

(2024年9月1日～2025年8月31日)

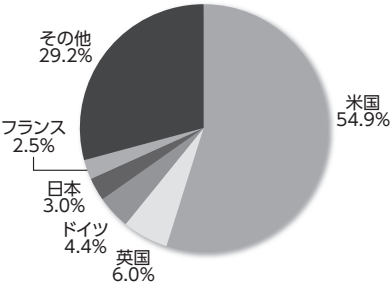
項 目	項目の概要
保管報酬	年間報酬(証券の価額の0.0024%から0.45%)および取引報酬(1取引当たり5.5米ドルから124米ドル)
年間サービス報酬	投資対象ファンド純資産総額に対する年率0.20%(上限)
その他の費用(上記期間)	2.01%

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(上記期間)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当該期間のその他の費用の金額を投資対象ファンドの当該期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

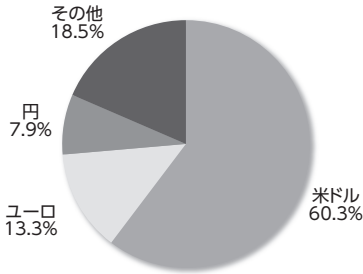
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(2025年8月31日現在)

(注)上記の各比率は端数を四捨五入して記載しているため、合計が100%とまらない場合があります。